ひゃくじつこう
六中通信 百日紅

令和8年11月17日（火）
調布市立第六中学校
http://www.chofu-schools.jp/chofu6/

偏見・差別のない世界を目指して
生徒はハンセン病問題から何を学んだのか

校 長　佐伯 あつ子

六中では3年間で、「人権教育プログラム」（東京都教育委員会）に挙げられている人権課題をほぼ網羅できるよう、計画的に人権教育を行っています。3年生で学ぶ人権課題の柱は「ハンセン病問題」です。3年生は9月から、ハンセン病問題について各自で調べ学習を行い、クラス内で発表し合いました。そして今年度も、11月2日（月）にハンセン病資料館運営委員の佐久間建先生、「全生園の明日をともに考える市民の会」代表の藤崎美智子さんをお招きして、講話と紙芝居の読み聞かせをしていただきました。




（この様子は、NHK の首都圏ネットワークで放送され、調布経済新聞にも掲載されました。）

生徒は全ての学習を通して考えたことを各自でまとめ、6日（金）には各クラスから選出された代表メンバーによる意見発表会を行いました。




意見発表会は MORI ルームから配信
運営・進行も生徒（ジュニア研修部）が担当

＜生徒の意見発表より＞

・ハンセン病に対する偏見や差別は裁判で勝訴したからといって完全に終わったわけではない。彼らが失った人や時間は一生戻ってこない。だからこそ同じようなことが繰り返されないように周囲に広めていって、世界全体で人種差別や部落問題といった大きな問題を解決したいと思いました。

・本人の意思に反して家族や自由を奪われることは、人権を大きく侵害していると思います。間違った知識が今も誰かの尊厳を傷つけていることを看過せず、正しく伝えていくことが大切だと思いました。

・わからないから離れるのではなく、共に暮らすためにどうするかを考えることが大切。一人の命も不当に扱われない、人権を尊重する取組が大事だし、民主主義をもっと成り立たせる方法を考えたいと思いました。

・「自分とこの人は違う」から関わらないようにしよう、となると、周りもそれに便乗してしまい差別につながる。ハンセン病だけに限らず、病気、宗教、人種など、多くの人権問題がまだ解決していない。それらを解決するためには、一人一人の意識と、集団、国家、世界での意識を変えていくべきだと思いました。



佐久間先生、藤崎さんへ
代表生徒からお礼の言葉

＜3年生全員の意見を読んだ佐久間先生からいただいた感想より＞

ハンセン病問題を少しだけ学んで差別事例をいくつか挙げる程度の授業では、しばしば「昔の日本はひどかった」という皮相的理解や「ハンセン病の人々はかわいそう」という感傷的理解に終わってしまうことがあります。しかし、調布六中の生徒さんたちは、もっと学びを深められたと感じました。それは事前のハンセン病問題に関する授業が適切にあり、問題意識をもって藤崎美智子さんの紙芝居を見る・聞くことができたからだと思います。

紙芝居のテーマは「いのちの尊厳」です。私は、せっかくハンセン病人権学習を実施するならば、差別事例の紹介程度だけでなく、「いのちの尊厳」にかかわる内容までに踏み込むことによって学習の成果が大きく向上するのではないかと考えています。学習の成果とは、人権尊重への実践的態度を育てることです。大事なことは、ハンセン病問題への理解ができたかどうかではなく、人権尊重への実践的態度が育ったかどうかです。調布六中の人権教育の確かさを感じました。今後も、学校教育のあらゆる場で人権尊重の精神を涵養する教育・学習に取り組まれることを期待いたします。

★「いのちの尊厳」という言葉を深く心に刻み、今後も六中の人権教育をよりよいものにしてまいります。

1年校外学習　高尾山フィールドワーク(10/16)



和田先生考案の昆虫模型を使った事前の学習(理科)

例年1年生は環境教育として、明星大学の和田薫先生と生物多様性について学び、その環境を守る意義を考えながら、高尾山でフィールドワークを行っています。今年度も599ミュージアムをスタートし、班ごとに動植物を調査しながら、山頂のビジターセンターを目指しました。ビジターセンターでは、スタッフの方がスライドや動画を使ってさらに詳しく高尾山の動植物について教えてくださり、学びの多い体験的な学習ができました。







2年同和問題講話(10/16)



2年生の人権学習の柱である同和問題についての取組が始まりました。生徒たちは各自で調べ学習・発表を行ったあと、東京都人権プラザの林先生をお招きして講話を聞きました。今月27日の校外学習では、実際に浅草寺を起点に同プラザの皆さんとフィールドワークも行います。2年生も偏見・差別と向き合います。

2年がん教育講演会(10/26)

2年に一回行っているがん教育講演会では、NPO 法人「がんノート」の岸田さん、患者団体STAND UPの坪内さんのお話や、タブレットを活用したグループワークを通して、がんを自分事として捉えながら、がんや命、生きることについて、自分の考えを深めていました。




生徒の主体的な活動

まなびの森

Talking Café(10/20)　六中見学会(10/20)



調布市海外派遣事業に参加した生徒による対話型の自主報告会




生徒会本部役員が6年生に六中を紹介。3年生の合唱も披露！

生徒総会(10/22)　ﾋﾟｰｽﾒｯｾﾝｼﾞｬｰ報告会(11/6)



議案書も総会もデジタルを活用。役員、各委員長が頑張りました。

今年参加した生徒による広島・長崎への思いを込めた自主報告会



まなびルーム(11/10～)

ジュニア研修部が企画・運営する、定期考査前の「まなびルーム」。考査前の、みんなで勉強する雰囲気が校内に定着してきました。



調布市教育委員会からのお知らせ

◆カスハラ防止措置のガイドラインについて

先日もすぐーるで配信、およびプリント配布しましたが、調布市でもカスタマーハラスメント防止措置の義務化を踏まえ、「保護者や地域住民等とのより良い関係構築のためのガイドライン」を打ち出しました。地域・保護者からの、社会通念上許容される範囲を超えた言動につきましては、本市および本校でも、本ガイドラインに基づいて対応してまいります。教職員が安心して職務に従事できる環境を確保し、教育活動を充実するため、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

◆調布市教育委員会表彰について

今年度、調布市教育委員会表彰の基準が改正されました。特に学校外の活動については、「その活動での経験を活かし、授業等に主体的に参加し、他の生徒の模範となる行動を行ったもの」が追記されています。

詳細は、11月18日に教育委員会から配信されるすぐーる、または調布市のHPでご確認ください。

１１　月　の　行　事

2日(火)　こころのアンケート　3年ハンセン病講話
5日(木)　2年音楽鑑賞教室
9日(月)　あいさつ運動　～13日
　　全校朝礼　安全指導日
11日(水)　第4回 SEL
　　数学ステップアップ教室
13日(金)　定期考査Ⅲ　～17日
18日(水)　3年復習確認テスト
19日(木)　避難訓練
24日(火)　ロバートの英会話教室(1年)
25日(水)　哲学対話　ロバートの英会話教室(2年)
　　数学ステップアップ教室
26日(木)　グリーンハロープロジェクト
　　1年ブラインドサッカー体験　～27日
　　ロバートの英会話教室(3年)
27日(金)　2年校外学習
30日(月)　1年ちーむぎゃろっぷダンス交流会



音楽鑑賞教室では六中生が指揮者体験